

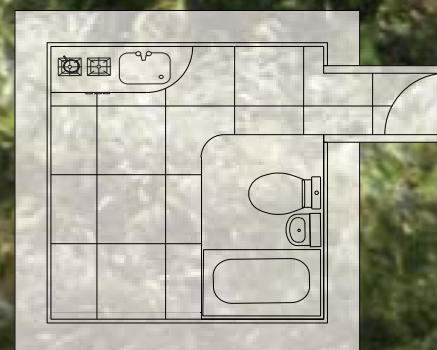


H o u r g l a s s H o u s i n g

砂 時 計 の よ う に 刻 々 と 変 化 し て い く 建 築

屋根と床

屋根と床はいつも対だ。屋根の下には床があり、床の上には屋根がある。
私の提案では、そんな二つの関係が時間によってずれていく様を描く。
風がそよぎ、森がざわめくにしたがって、屋根は右へ左へ奇妙に揺れる。
屋根と床のずれは壁をたわませ、そこへ木漏れ日が差し込む。
うっすらと、かすかに感じる森の気配は、そこに住む人の身体を柔らかに包み込むだろう。

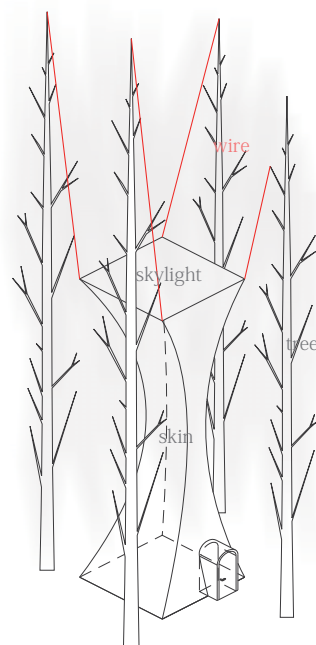


plan 1/100

振る舞う環境

場所とはある山奥。建築物はその隙間を縫うように浮いている。針葉樹林は広葉樹林が生育できないような強い風の吹くところに生育するという。
風の振る舞いは木々の振る舞いを、木々の振る舞いは建築の振る舞いを、建築の振る舞いは人の振る舞いを決めていく。

環境の振る舞いが人々のアクティビティを。
そして振る舞う様は、その土地特有の風景を生み出す。



周辺との関係を断絶したかに見える内部空間は、外部環境からの影響を巡り巡って反映し、住人のアクティビティを発生させていく。

